

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和6年1月25日

施設名	坂本龍馬記念館	所管課	文化生活スポーツ部歴史文化財課
-----	---------	-----	-----------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県文化財団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設所在地	高知市浦戸城山830番地		
事業内容	坂本龍馬を顕彰する施設として、坂本龍馬に関する資料の収集、保管、及び展示を行う。		
施設内容	<建物>延べ床面積:3968.86㎡ 新館 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階地下1階 本館 鉄筋コンクリート造一部鉄骨 地上2階地下2階 <主要施設> 常設展示室、企画展示室、図書・ビデオコーナー、ミュージアムショップ、談話室など <開館時間>午前9時～午後5時 <休館日> 年中無休 <主な料金> 企画展開催期間 700円 それ以外の期間 500円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料 施設利用料 ホール9,900円(午前)16,500円(午後)、企画展示室20,790円(1日)		
職員体制	常勤職員: 6人 契約職員: 12人 合計: 18人		

※ 職員数は令和4年4月1日現在

2 収支の状況

単位:千円

		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
収入	県支出金	173,916	162,192	187,106
	事業収入	32,961	50,787	73,139
	その他	13,609	7,131	5,000
	収入計	220,486	220,110	265,245
支出	事業費	220,486	220,110	265,245
	(うち人件費)	(81,662)	(81,939)	(94,758)
	その他			
	支出計	220,486	220,110	265,245
収支差額 (a)－(b)		0	0	0

3 利用状況

	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	前年度比
① 年間利用者数 合計 (単位:人)	63,700 人	103,901 人	40,201 人
	<利用実績> ・コロナウイルス感染症の影響は収まってきたが、観覧者数は目標を下回った(目標人数:160,000人、達成率:約64.9%)。		

② 利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時期: 年間 ・ 方法: アンケート用紙への来館者による記入 ・ 回答数: 12,769 ・ 調査結果等: 企画展の評価(良い82% 普通16.2% 良くない1.9%) 来館者の各種の感想、意見等
	○ 利用者意見等を踏まえた対策
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 順路が分かりにくいといったご意見に対し、看板の位置を変更した。 ・ ジョン万次郎展示室でもっと資料を見たいと言ったご意見に対し、展示替えを行い、また定期的に展示替えを行っていくこととした。 ・ 解説版の内容は分かりにくい、字が小さいと言ったご意見に対し、文字数を少なくし、字を大きくした。また分かりやすくなるよう補足で解説を追加した。
	○ その他
③ その他特記事項	

4 年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・建物や設備の管理については、保守管理委託業者の現場駐在社員との連絡を密に行い、来館者の安全と展示室の適正な環境管理に努めている。 ・消防計画に沿った館内組織体制を職員に周知するとともに、関連のマニュアル等を常時、職員の見える位置に掲示している。また、地震等に備え必要備品の購入や更新を行うとともに、高知市と連携し、避難所としての物資の備蓄も行っており、避難訓練も実施している。 ・「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づく感染対策を実施し、来館者と職員の安全管理を図った。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた記述式のアンケートを再開し、アンケート結果に基づき子どもから大人までを対象としたイベント等を実施するなど、業務改善の取り組みに努めている。 ・インバウンド対応として外国語パンフレットの配布を再開し、HPの多言語解説ページの追加や本館2階の案内の英語表記などの取り組みを進めている。 ・来館者の接遇については、適時、職員間で検討会を行いながら改善に努めている。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響が一定あり、令和4年度の入館者数は目標である16万人には及ばなかったが、103,901人と10万人超えまで戻すことができています。 ・教育普及事業として、来館校数、人数は97校、6,118人で、出前授業の参加者数は585人であった。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・経費節減を行うとともに、費用対効果を考慮した広報や展示活動により集客の回復を図る等、収支均衡の運営に努めた。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展示事業のうち、特別展「龍馬の師—勝海舟生誕二百年」展では、4年連続となる国指定の重要文化財を含む展示を行い、公開承認施設認定に向けての実績を収めた。また、各企画展について、テーマや県内外の関係機関とのネットワークを生かした有意義な展示、小冊子や図録の発行、担当学芸員の展示解説や記念講演会の実施等、来館者の満足度の向上を図るため積極的に取り組んでいる。 ・坂本龍馬直筆の手紙7点を高知県立歴史民俗資料館から移管し、複製は宮内庁や大村市が所蔵する各1点を制作するなど調査研究にも努めている。 ・各企画展ごとの記念講演会(全4回)及び連続講演会(全5回)やWEBによる事後配信サービスの実施、小学生を対象とした出前授業や校外学習での解説の実施など大人から子どもまで幅広く龍馬の生涯や幕末の歴史を学べる機会の創出に積極的に取り組むなど、利用者サービスの向上に努めた。また、出前授業の実施校を館に招く「アフター出前教室」といった新たな試みにも挑戦している。 ・広報について、地上波のキー局のほか、関西・中四国圏を中心に県内外の新聞・TV等のメディアを活用した取材の受け入れを含む情報発信を展開するなど集客力向上に努めている。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

	<p>利用状況の表をみると入館者内訳として、減免・招待者が1万人くらいおり、率直な感想として多く感じる。 コロナ禍という要因で多くなっているのか。</p> <p>(吉村館長) この減免・招待者というのは例えば龍馬パスポートなどのキャンペーンや県の観光特使の紹介によって来館いただいた方など県との協議で数十項目定めている方々になっている。</p>
<p>・ 今後の展望について</p>	<p>(委員) 坂本龍馬は他の文化施設と違い、彼自身がコンテンツとなる特色があるが、今後の活用について、例えば25年度の万博に向けた売り出しなど特色ある企画等考えられているか。</p>
<p>・ 桂浜エリアでの連携について</p>	<p>(吉村館長) 過去にはドラマで坂本龍馬を演じた方々の写真パネルの展示を行ったりしているが、今後飽きの来ない企画を点だけでなく面で展開できるよう、ハードは新館、ソフトは本館という特色を活かして工夫していきたい。県で関西連携の取組を進めており、海外を含めた関西からのお客様の旅先として選んでいただけるコンテンツ作りを考えていきたい。</p>
<p>・ 外国人における坂本龍馬の認知について</p>	<p>(委員) 外国の方にとって坂本龍馬の認知は高いのか。</p> <p>(吉村館長) よほど高知に関心を持っている方じゃなければ難しいと思うが、台湾の方はじっくり展示を見ていただけている印象がある。。</p>
<p>・ 市町村との連携について</p>	<p>(委員) 安田町と連携した取組を継続しているとあ</p>

<p>・坂本龍馬の中核となる施設として</p>	<p>るが、県内の市町村との連携について、今後の可能性や見通しをどのように持っているか。</p> <p>(吉村館長)</p> <p>安田町については、高松順蔵や石田英吉などの幕末の先人の出身地ということで教育委員会と提携関係を結び、昨年は安田町で行った企画展に資料を貸出しを行った。他の市町村においても、展示支援や資料の相互交流などの連携を続けていけると考えている。</p> <p>また龍馬の仲間たちの仕事についても、県外と連携することで幅と厚みがある展示に繋がるのではないかと考えている。</p> <p>(委員)</p> <p>坂本龍馬記念館というからには、龍馬に関する様々な情報が集まり発信する、ハブ的な役割があつてしかるべきかと思うがいかがか。またSNSなどを活用し、足下の高知県だけでなく、世界に対して情報を発信していくことを期待したい。</p> <p>(吉村館長)</p> <p>指定管理を受けるうえで県からの仕様書にも龍馬への入口ということで、龍馬史、幕末史の全貌を解明することに加え、龍馬の歴史を通じ幕末史の意義深さを追求していくことが含まれている。</p> <p>龍馬の入口、殿堂を目指せという県の方針もあるので、県内外に資料の借用や講演などを通じて、テーマや領域の広がりを目指すことを目指している。</p> <p>SNSについては、インスタグラムで本日から5日間ヤフーにおいて、当館のPR画像を高知市民に配信する取組を始めている。</p>
-------------------------	--

○以上の質疑をふまえ、委員会として下記のとおり評価点を取りまとめた	委員からの主な意見
総合評価・・・「A」	<ul style="list-style-type: none">・収集・保存については、新館完成以降、継続した資料の充実が認められる。 ・調査・研究については、収集した資料の調査・研究が順調に進んでいることが認められる。 ・教育・普及については、活発に事業を行っている。 ・その他については、積極的な他館等との連携が認められる。